

四月には、入学した一年生が学校生活に早くなれるよう朝の準備から給食、掃除の手伝いを行います。休み時間には外で一緒に遊んでもらいます。これは、最初こそペア学年として割り振られた学級にお手伝いに行く程度ですが、その後の、サツマイモの苗植えや、全校遠足、ローリング昼休みにおいてのなかよし遊びを通して、一年生と担当でない日も意欲的に関わろうとする児童が増きました。六年生から優しさをたくさんもらつた一年生は、一二月の幼保小の連携において、学校に来た就学予定の児童に対し、自分たちが六年生にしてもらつたように優しく接することができました。

この六年生から一年生への優しさは、どの学年から見ても素晴らしいものであります。六年生への尊敬の念が深まります。ですから、二月に行われる贈る会においては、六年生への感謝の思いを伝えたいと、どの学年も一生懸命に練習しします。特に五年生は会の企画運営を行い、休み時間も惜しまず準備を行います。たくさんのお手伝いをして残り、次の学年への道標として毎年繋がっていきます。

児童が、このように学校生活において生き生きと過ごすことができるのも、地域の皆様との



つながる想い

北貝塚小学校 教務主任 生川 稔治

第49号
令和2年3月10日
貝塚中学校区
青少年育成委員会

地域の人材や施設を生かした教育活動

桜木小学校 教務主任 湯山 修二



関わりがあつてこそです。次年度も地域の一員として、学校の一員として、北貝塚小学校の児童は活動していくことでしょう。四月からも児童の成長にご協力をお願ひます。

三年生は、総合的な学習の時間で、桜木町について調べました。身近な遊び場所にもなつていて、妙見宮を訪れ、氏子の方に神社の由来や、「三角神社」と呼ばれる理由を伺いました。また、本校の伝統行事である「桜木つ子まつり」に草創期から携わっている方や、現在中心になつて運営してくださつていている方に、どんな思いで活動しているのかなどを伺いました。思いや願いに触れ、これからもまつりを大事にしていく気持ちが高まりました。

五年生は、植草学園大学の協力のもと、「縄文オペラ」を創作し、発表しました。昨年度に続き二年目の今年は、「現代」をテーマに、加曾利貝塚がどのように守られ、特別史跡指定へと至つたのかを調べ、劇にまとめました。多くの人の努力で遺跡が守られてきたことに気付き、一層愛着をもちました。

これららの活動はすべて、地域や保護者の皆様のご理解とご協力がなければできないものばかりです。ありがとうございました。

感染症予防のために臨時休校になつた期間も、学校に来る子どもたちのために、登校時間に道に立つてくださるセーフティウオッチャーさんもいらっしゃいました。子どもたちが地域の皆様に見守られていくことを、改めて強く感じています。

来年度も、地域の皆様とふれ合う活動を通して、人を思いやる心

や、優しい気持ちを育む教育活動を展開していきたいと考えています。



2学年「総合的な学習」より 「職場体験学習」を終えて

貝塚中学校 教務主任 青山淳一

受け入れて頂いた事業所の皆様、
ありがとうございました。

6月25日（火）～27日（木）の3日間、今年も職場体験学習が実施されました。年度当初から体験を希望する職種を踏まえ、事業所を探すことから始め、学校から依頼をしたものを含める事業所にご協力をいただきました。今年は2月に自然教室が控えていたため、例年行っていた11月ではなく、早く本校の生徒を受け入れて下さり、感謝致しました。今年は2月に多くのことを学べた有意義な体験活動になりました。生徒点からは、「職場体験を通して、コミュニケーションがどの場面報ら働く」と書かれています。



でも大事であることを感じた」「相手のために働くことの大切さや、働くことで得ることがあるということ。今後の自分の進路についても考えることができた」「お客様に笑顔で接すると相手の方も笑顔で接してくれて、やる気になつた。周りの人方が笑顔になつてもらえる仕事に将来就きたいと思つた」など、体験学習を通して多くのことを学ぶことができました。

環境・非行対策部

樋口 正志

二〇一九年度「環境・非行対策部」の活動に関し、計画に基づき、次のとおり実施いたしましたので報 告いたします。

三二 一
六月二十九日（土）
前期 地域ぐるみ一斉点検パトロール

三二 二
七月 中旬から八月中旬 夏祭防犯巡回パトロール

後期 地域ぐるみ一斉点検パトロール

四 その他 夜間等における地域巡視
地域ぐるみ一斉パトロールについては、三校の先生方をはじめ、PTA、協力会、青少年補導員、民生委員、並びに各自治会役員など、多くの皆様にご協力いただき、計画どおり実施することができました。校区内を七つのコースに分け、①非行の発生度合が高いと想定される場所の発見と対策

②通学路の点検と問題点有無の確認
③各種店舗（カラオケボックス、コンビニエンスストア、インターネットカフェ等）の巡回と現況の確認
④青少年に有害な野外広告・ビラの撤去依頼
⑤通学路における老朽化等した施設の確認
⑥廃棄物不法投棄・ゴミの放置状況等の確認

た。
夏祭防犯巡回パトロールについては、子供達の見守りを目的とし、警察の協力を仰ぎながら、校区内の町内自治会等が主催する夏祭会場の巡回を実施いたしました。

次に、その他の活動については、部長、副部長を中心に入れ個別に、主に夜間の地域巡視を実施いたしました。関係者の皆様におかれましては、環境・非行対策部の活動にご協力いただきましたことに對し、この場をお借りし、心より御礼申し上げます。
二〇二〇年度は、皆様のご意見に基づき、一斉パトロールのコースに関し、施設名称の正確性確認および巡回ルートの一部見直し等をはかり、ご協力いただく皆様が実施しやすい環境を整えていく予定でござります。
最後に、昨今、いいじめ、児童虐待、ウイルス感染等子供達に関する悲しく痛ましい事件・事故が報道されております。我々大人

が、今一度原点に立ち返り、いかに子供達が生活しやすい環境を作つていただけるかという観点から、さらなる解決策を模索していく必要があると考えます。貝塚中学校区青少年育成委員会としても、情報共有をはかりつつ、地域との一体感を醸成し、改善に取り組んでいなければと切に思うところであります。

皆様、引き続きご尽力賜りますようお願ひいたします。

福祉・交通安全部

中畑 稔

今年度も昨年同様年間計画に基づき、新学期の始まる四月五日、夏休み明けの九月二日（六日、正月明けの一月六日）十日の間、部会員の皆様のご協力によりまして、それぞれの通学路におきまして児童の交通安全の指導を行いました。

①北貝塚小学校付近の交差点

②千葉信用金庫桜木支店前五十一号線の横断歩道

③高麗商店十字路より貝塚中まで
の通学路等の三か所で、特に交通の激しい交差点や、また坂道のためスピードの出ている車が多く危険を感じること等、学童たちの安全を確保するべく見守りを行つてまいりました。場所によつては中学生、小学生の行きかいが重なるところでは児童同士で注意しあう様子が頗もしく思われました。
また、指導員に対しても元気よく挨拶もされており、頗もしく感謝いたしました。

皆様の協力お願いいたします。

健全育成部

東田 日出夫

健全育成部では、昨年度に引き続き今年度も浴衣着付け講習会の開催を企画しました。しかし、残念ながら参加申し込みが無く、中止となりました。来年度は、開催時期や開催方法などを見直して、参加しやすい企画にしたいと思います。

また、二月八日から二月二十四日の期間、恒例の書き初め展示会を行いました。桜木公民館には桜木小学校六年生の作品、都賀コミュニ

ティーセンターには北貝塚小学校六年生の作品と貝塚中学校の入賞者の作品を展示了。どの作品も力強くのびのびとした作品で、子供たちが真剣に取り組んでいる姿が目に浮かびました。来年度も子供たちの健全育成のための企画を計画していくたいと思ひますので、ご協力お願いいたします。

レクレーション部二〇一九

嶋田政昭

レクレーション部ではここ数年、主に三つの活動をしています。まず九月二十八日（土）に研修旅行を行い、今年度は筑波にあるJAXA宇宙センターと牛久の大仏へ行きました。実物大のロケットなどもあり、スケールの大きさや日本の宇宙科学技術の高さに驚きました。そして十月十九日（土）に貝塚中バザーがあり、「ストラップアウト」のゲームとコーアヒー、ココアなどを提供する「飲食コーナー」で参加しました。百名を越える小中学生の子ども達がきてくれて盛況でした。

年が明けて二月一日（土）にボーリング大会を行いました。校長先生や教頭先生方も応援にかけつけていただき六十一名の参加で、三校の先生方も二十二名と多数参加していただき、ストライクやガターライに一喜一憂しながらも、楽しいひとときを過ごしました。

恒例の夏休みディキャンプは、残念ながら参加希望者が少なく昨年度に続き中止となってしまいました。来年度は子供達と楽しい時間を過ごせることを期待します。

バザーでは模擬店を出店しお餅、焼き鳥、フライドポテトを提供しました。今年は近隣の自治会長や協力会委員の知人にもご協力いただきました。ありがとうございました。

今年度は、三名の現役の保護者の方が会員になつてくださいました。定例活動は毎月第三土曜日の十時～十二時に行っています。興味のある方は是非一度学校に見に来てください。

☆表彰おめでとうございます☆

青少年健全育成功労者表彰

九月二十一日（土）

生涯学習センターにて

全国保護司連盟理事長表彰

千葉県文化会館にて

前島 孝夫
本間 澄江 様様

戸村 聰 様

世界中に広がる新コロナウイルス禍（COVID-19）の中、学校を含め子供達の学習・生活にも大きく影響をうけています。そこで喧嘩をし、デマ報道でトイレットペーパーを買いに往々左往しております。五十歳代以上の大人はオイルショックでつづくづくです。感じますが、人間というものは非情に不安定な生き物だな

広報部 前島 孝夫

貝塚中協力会の活動報告

貝塚中協力会 会長 東田 日出夫